



## 2025年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年3月11日

上場取引所 東

上場会社名 ReYuu Japan株式会社

コード番号 9425 URL <https://www.reyuu-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重富 崇史

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 菊地 洋介

TEL 03-6230-9388

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年10月期第1四半期の業績（2024年11月1日～2025年1月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	1,382	11.0	△4	—	△6	—	△7	—
2024年10月期第1四半期	1,245	16.1	△32	—	△34	—	△34	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第1四半期	△1.31	—
2024年10月期第1四半期	△6.07	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年10月期第1四半期	2,005	859	42.8	157.63
2024年10月期	1,887	866	45.9	158.95

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 859百万円 2024年10月期 866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	—	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年10月期の業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

2025年10月期の業績予想につきましては、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期 1 Q	5,741,500株	2024年10月期	5,741,500株
② 期末自己株式数	2025年10月期 1 Q	292,105株	2024年10月期	292,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年10月期 1 Q	5,449,395株	2024年10月期 1 Q	5,729,395株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2025年10月期の業績予想につきましては、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7
3. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にある中で、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価の上昇、通商政策等のアメリカの今後の政策動向等の影響に依然として注意が必要な状況が続いております。

当社の主な事業分野である携帯電話業界におきましては、円安や製造コストの上昇に伴い、新品端末の価格高騰が続いております。その一方で、高価な最新機能よりも実用性とコストパフォーマンスを求める需要から、リーズナブルに入手可能なリユースモバイル端末への関心はますます高まっております。リユースモバイル端末は、普及が進む低価格帯の回線サービスとも相性がよく、2台目以降としての利用や法人による利用が増加しており、市場は順調に成長を続けております。今後につきましても、リユースモバイル端末の品質や安全性が認知されていくとともに、市場規模の拡大が加速していくことが見込まれます。

このような事業環境の中、当社は社名の一部でもある「ReYuu (注)」に表現されるコーポレート・アイデンティティに基づき、モバイル端末を中心とするリユース関連事業を事業の柱として、企業価値の向上を目指しております。

当第1四半期累計期間におきましては、リユースモバイル市場の拡大を背景に、販売台数、売上高、売上総利益のいずれも前年同四半期比で増加いたしました。この成長は、販売促進および調達力強化へと継続的に注力してきた結果、新規顧客の獲得や既存取引先との関係強化により事業基盤が強化されたことによるものです。特にグローバル展開においては、調達と販売の両面で取引体制の構築が進んでおります。また、コスト構造の見直しを実施し、販売費及び一般管理費を152百万円から134百万円へと11.7%削減いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,382百万円(前年同四半期比11.0%増)、営業損失は4百万円(前年同四半期営業損失32百万円)、経常損失は6百万円(前年同四半期経常損失34百万円)、四半期純損失は7百万円(前年同四半期四半期純損失34百万円)となりました。

(注)「ReYuu (リユー)」は、「①『リユー』スの輪を広げる、②選ばれる『理由』がある、③『Re (何度も)』+『Yuu (結う=繋げる)』」という想いを込めた、当社の目指す姿を示すコーポレート・アイデンティティです。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

当社の事業は、情報通信関連事業の単一セグメントであります。業績の状況を事業部門別に記載していません。

### (リユース関連事業)

当第1四半期累計期間におけるリユース関連事業におきましては、販売・調達の両面で事業基盤の強化に取り組んでまいりました。

卸業者向けの販売につきましては、海外ビジネスに精通したグローバル人材を積極的に活用し、ネットワークの強化と海外取引の拡大が進行しております。今後は、為替動向等に応じて国内と海外の販売バランスを柔軟に最適化し、利益の最大化を図ってまいります。

MVNO事業者、携帯販売代理店、小売業者、一般企業といった国内法人向けの販売につきましては、販売・買取・レンタル・商品保証・キittingを一体化した総合的な端末サービスを強みとして、既存取引先の深耕営業および新規顧客の開拓に取り組み、堅実に取引基盤が拡大しました。

個人向けオンライン販売においては、コスト構造の見直しを実施し、利益率を重視した取組みを推進しております。

また、リユースモバイル端末市場の拡大に対応し、事業成長を持続させるため、前期から調達力の強化を重点戦略として掲げております。事業の基盤となる良質な商品の安定的な確保を図り、国内外の仕入先との関係強化に注力するとともに、粗利率を上げるための取組みとして、一般企業において不要となった業務端末の直接買取を増加させるため買取提案営業を促進しております。

これらの結果、売上高1,358百万円(前年同四半期1,239百万円)、販売台数は46,287台(前年同四半期29,415台)となりました。

### (その他の事業)

当第1四半期累計期間におけるその他の事業におきましては、売上高24百万円(前年同四半期6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて117百万円増加し、2,005百万円となりました。これは主に、現金及び預金が237百万円減少したものの、商品が192百万円、売掛金が110百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて124百万円増加し、1,145百万円となりました。これは主に、買掛金が124百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べて7百万円減少し、859百万円となりました。これは、利益剰余金が7百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、2025年2月28日に公表いたしました「親会社及びその他の関係会社の異動、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動、並びにSeacastle Singapore Pte. LtdによるReYuu Japan株式会社株式（証券コード：9425）の公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為に関するお知らせ」による影響の精査と事業計画の見直しを実施中であることから、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響による調達難等により2022年4月期に営業損失を計上し、その後も継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、これまでの調達力強化や販売チャネル拡充の施策を通じて、当社のリユース関連事業は着実に拡大しており、当第1四半期累計期間においては売上高1,358百万円（前年同四半期1,239百万円）となりました。また、当第1四半期累計期間の営業損失は4百万円となり、前年同四半期の32百万円から28百万円の改善を実現いたしました。利益構造の改善は、売上の拡大、コストの低減および在庫コントロールの最適化により今後も進む見込みです。さらに、資金面におきましても十分な流動性を確保しており、今後の資金繰り見通しについても安定して推移することが見込まれ、引き続き財務基盤は安定しているものと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	411,180	174,028
売掛金	472,290	582,732
商品	844,174	1,036,776
貯蔵品	5,785	8,000
前払費用	10,695	9,328
未収入金	871	871
未収消費税等	54,591	99,845
その他	2,243	3,845
流動資産合計	1,801,832	1,915,429
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,776	5,776
減価償却累計額	△5,776	△5,776
建物(純額)	-	-
構築物	20	20
減価償却累計額	△20	△20
構築物(純額)	-	-
工具、器具及び備品	40,754	41,352
減価償却累計額	△40,754	△40,776
工具、器具及び備品(純額)	-	575
リース資産	294	294
減価償却累計額	△294	△294
リース資産(純額)	-	-
レンタル資産	82,194	94,466
減価償却累計額	△17,210	△26,303
レンタル資産(純額)	64,983	68,163
有形固定資産合計	64,983	68,739
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,001	1,001
差入保証金	21,065	21,065
貸倒引当金	△1,001	△1,001
投資その他の資産合計	21,065	21,065
固定資産合計	86,049	89,804
資産合計	1,887,882	2,005,234

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,582	150,692
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	18,900	40,978
未払費用	11,775	11,615
未払法人税等	2,440	610
預り金	3,907	4,605
賞与引当金	3,600	1,675
その他	27,887	34,014
流動負債合計	535,089	684,186
固定負債		
長期借入金	436,673	426,674
長期末払金	18,281	6,536
退職給付引当金	27,815	24,965
資産除去債務	3,565	3,566
固定負債合計	486,335	461,743
負債合計	1,021,424	1,145,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
資本準備金	724,520	724,520
その他資本剰余金	358,158	358,158
資本剰余金合計	1,082,679	1,082,679
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△167,167	△174,320
利益剰余金合計	△167,167	△174,320
自己株式	△99,352	△99,352
株主資本合計	866,159	859,006
新株予約権	298	298
純資産合計	866,457	859,304
負債純資産合計	1,887,882	2,005,234

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
売上高	1,245,508	1,382,671
売上原価	1,125,479	1,252,448
売上総利益	120,029	130,222
販売費及び一般管理費	152,312	134,463
営業損失(△)	△32,282	△4,240
営業外収益		
為替差益	—	3,850
その他	924	148
営業外収益合計	924	3,999
営業外費用		
支払利息	1,865	2,675
為替差損	127	—
物品売却損	968	—
棚卸資産除却損	170	3,824
営業外費用合計	3,131	6,500
経常損失(△)	△34,489	△6,740
特別利益		
受取賠償金	300	198
特別利益合計	300	198
税引前四半期純損失(△)	△34,189	△6,542
法人税、住民税及び事業税	610	610
法人税等合計	610	610
四半期純損失(△)	△34,799	△7,152

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、情報通信関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	85千円	21千円

(重要な後発事象)

1. 多額な資金の借入

当社は2025年2月7日に、株式会社紀陽銀行から資金194,000千円の借入を実行いたしました。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| (1) 借入金利          | 変動金利（基準金利＋スプレッド）     |
| (2) 借入期間          | 2025年2月7日～2025年3月31日 |
| (3) 担保提供資産又は保証の内容 | 無担保・無保証              |

2. 親会社の異動

当社の親会社である株式会社ショーケースは、2025年2月28日開催の同社取締役会において、同社の保有する当社の株式の一部をSeacastle Singapore Pte. Ltdに譲渡することを決定し、Seacastle Singapore Pte. Ltdとの間で株式譲渡契約を締結しました。これにより、2025年3月25日付で株式会社ショーケースは当社の親会社に該当しないことになる予定です。

これに伴い、株式会社ショーケースを通じて当社の普通株式を間接的に所有しておりますAIフュージョンキャピタルグループ株式会社につきましても、同日付で当社の親会社に該当しないことになる予定です。

3. 補足情報

事業部門別売上高の状況

区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前年 同四半期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	千円	%	千円	%	%
(1) リユース関連事業	1,239,183	99.5	1,358,553	98.3	109.6
(2) その他の事業	6,324	0.5	24,117	1.7	381.3
売上高合計	1,245,508	100.0	1,382,671	100.0	111.0